

「長万部町防災の日」に 防災訓練を実施しました

平成5年（1993年）7月12日に「北海道南西沖地震」が発生し、長万部町においても甚大な被害が発生しました。

災害に対する備えの一層の充実強化を図るため、7月12日を「長万部町防災の日」と定めています。

今回の防災訓練は、避難所における感染症防止対策をテーマに、令和3年7月12日(月)13時30分、長万部町ファミリースポーツセンターで実施しました。

町長挨拶の後、概要説明では「長万部町避難所マニュアル」に基づき、①避難所とは ②避難所運営に係る役割 ③災害発生から避難所開設・運営・撤収の流れ ④福祉避難所の開設 ⑤避難所の運営体制及び各班の活動内容 ⑥感染症対策の各項目について説明した後、パーティション（間仕切り）、段ボールベッド、敷マット、毛布等の災害備蓄品を使い、避難所内の居住スペース設置を想定した体験をしていただきました。

実際にやってみると、組み立て

が難しい部分もあり、参加された方は真剣に取り組んでいました。最後に実施したアンケートでは、

- ・ 地区ごとの避難訓練をした方が良い
- ・ コロナを踏まえた避難所内の配置が必要だと思っています。
- ・ 防災の必要性等改めて感じた。今後もしろいろな事を体験してみたい。
- ・ 避難訓練についても実施してもいい。
- ・ 災害対策は備えが大事、訓練することも備えの一つだと思います。

・ この種の訓練を定期的に行うことが大事だと思います。
・ パーティション（の組み立て）はむずかしい。
等のご意見、ご感想をお寄せいただきました。

コロナ禍につき、各町内会の代表者や関係機関等を対象とし、参加人数を限定しての開催となりましたが、今後は収束状況を見極めながら、各地域ごとに「防災出前講座」の開催などを検討していく予定です。
参加してくださった皆様、ありがとうございました。



北海道シェイクアウト （斉防災行動訓練）実施！

道では例年、一般参加型の防災行動訓練「北海道シェイクアウト」を実施しているところですが、本年は9月1日(水)に実施されます。

シェイクアウトは、参加者が大地震の揺れから身を守ることを目的とした訓練で、多くの自治体や企業が参加しており、令和2年度（2020年度）は全国で約333万人、道内で約12万人が参加しました。長万部町としても、地域における防災体制の強化を図るため、令和2年4月から稼働した防災ラジオを使い、自治体として参加することとしますので、積極的な取り組みをお願いします。

1 訓練日時

9月1日(水)10時00分

2 訓練内容

訓練の時間になりましたら、防災ラジオから訓練情報を放送します。各人がその場所ですぐに1分程度、「①Drop（まず低く）、②Cover（頭を守り）、③Hold on（動かない）」という「基本行動」を実施してください。

